

## 衣料品のサイズに関するJIS改正

—多種多様なユーザーニーズへの対応を目指して—

2023年3月20日

一般に販売されている衣料品は、その多くが JIS を基にして S/M/L 等のサイズ表示を行っています。これにより、消費者は、求めるサイズの衣料品を購入することが容易になる効果があります。

現在、インターネット販売などの購入形態の多様化や、消費者選好の多様化、あるいは日本人の長期的な体型変化やインバウンド消費の増加といった環境変化があります。したがって、適切にJISを見直すことが求められています。

今回の改正では、主に SS/3L/4L/5L サイズ及び男女兼用サイズの追加などを行いました。これにより、消費者が衣料品を購入する際の選択肢が広がることが期待されます。

### 1. JIS 改正の背景・目的

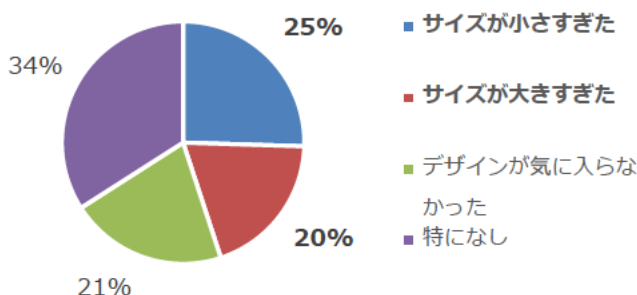
衣料品は、そのサイズに関する JIS(※) (以下、「衣料サイズ JIS」と言う。) に基づき、サイズ表示を行うことが多い中、現行の衣料サイズ JIS は、最新の日本人体型データを反映していません。また、来日外国人増加への対応や、男女兼用で着用できる衣料品の販売増加といった消費者選好の多様化への対応に課題がありました。また、通信販売やインターネット販売による購入形態の多様化なども踏まえると、サイズ表示のわかりやすさを確保することは、その重要性を増しています。

消費者の衣料に関わる意識やニーズの変化を把握するため、消費者ニーズ調査を実施・検討した結果、消費者が自身の身体にフィットした衣料品を選択できるよう、主に SS/3L/4L/5L サイズ及び男女兼用サイズを追加する JIS 改正を行いました。

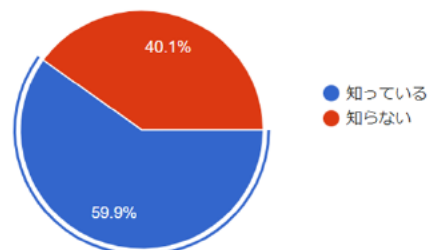
- ※ JIS L4001 乳幼児用衣料のサイズ  
 JIS L4002 少年用衣料のサイズ  
 JIS L4003 少女用衣料のサイズ  
 JIS L4004 成人男子用衣料のサイズ  
 JIS L4005 成人女子用衣料のサイズ  
 JIS L4006 ファンデーションのサイズ  
 JIS L4007 靴下類のサイズ

### <消費者ニーズ調査結果>

店舗での衣料品購入の際の問題点



男女兼用サイズの認知度



## 2. JIS 改正の主なポイント

### ① L 0 1 1 1 (衣料のための身体用語)

衣料のために用いる身体に関する主な用語について規定した規格です。2017年に改訂された国際規格 (ISO 8559-1(※)) に合わせ、用語の見直しを行いました。

※ ISO 8559-1 (身体測定のための人体測定の定義)

### ② L 4 0 0 1 (乳幼児用衣料のサイズ)、L 4 0 0 2 (少年用衣料のサイズ)、L 4 0 0 3 (少女用衣料のサイズ)

主に、用語及び定義の見直しを行いました。

### ③ L 4 0 0 4 (成人男子用衣料のサイズ)

主に、小さいサイズ「SS」と大きいサイズ「3L～5L」を追加するとともに(表1)、今回新たに男女兼用サイズを設けました(表2)。ただし、男女兼用サイズについては、男女混合の人体計測値や形状、また流通している男女兼用サイズの「基本身体寸法」などのデータを集めた上で、数値も含めた規格化をする必要があります。そのため、まずは男女兼用サイズの考え方を浸透させ、消費者がサイズを選ぶ際の指標となる呼び方と基本身体寸法を記載するための枠を設け、基本身体寸法は衣料の製造業者、販売業者が許容範囲とする値を表示することとしました。

表1 一範囲表示 (チェスト及びウエストによる表示)

呼び方		SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
基本身体寸法	チェスト	72～80	80～88	88～96	96～104	104～112	112～120	120～128	128～136
	ウエスト	60～68	68～76	76～84	84～94	94～104	104～114	114～124	124～134
	身長 (参考)	145～155	155～165	165～175	175～185		175～		

単位 cm

【出典：JIS L4004 表16】

表2 一範囲表示 (男女兼用)

呼び方		SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
基本身体寸法	チェスト・バスト	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>
	ウエスト	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>
	身長	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>

注<sup>a)</sup> 基本身体寸法は、衣料の製造業者、販売業者が許容範囲とする値を表示する。

【出典：JIS L4004 表17】

### ④ L 4 0 0 5 (成人女子用衣料のサイズ)

主に、小さいサイズ「SS」と大きいサイズ「4L～6L」を追加するとともに(表3)、今回新たに男女兼用サイズを設けました(表4)。ただし、男女兼用サイズについては、呼び方と基本身体寸法を記載するための枠を設け、基本身体寸法は衣料の製造業者、販売業者が許容範囲とする値を表示することとしました。

また、これまでのA体型、AB体型、B体型及びY体型の体型区分は、現在ほとんど使われていないため削除しました。

表3 一範囲表示 (身長 154 cm~162 cm)

呼び方		単位 cm								
		SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L	6L
基本身体 寸法	バスト	65~73	72~80	79~87	86~94	93~101	100~108	107~115	114~122	121~129
	ヒップ	77~85	82~90	87~95	92~100	97~105	102~110	107~115	112~120	117~125
	身長	154~162								
	ウエスト	52~58	58~64	64~70	69~77	77~85	85~93	93~101	101~109	109~117

【出典：JIS L4005 表 15】

表4 一範囲表示 (男女兼用)

呼び方		SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
基本身体寸法	チェスト・バスト	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>
	ウエスト	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>
	身長	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>

注<sup>a)</sup> 基本身体寸法は、衣料の製造業者、販売業者が許容範囲とする値を表示する。

【出典：JIS L4005 表 17】

⑤L4006 (ファンデーション)

主に、ブラジャー類については、カップ区分の表示がされるものに比べ、比較的締め付け感なく着用できるブラジャー類へのユーザーニーズが高まっていることに対応し、バスト・アンダーバスト表示を新たに設けました (表5)。

表5 一バスト・アンダーバスト表示

呼び方		単位 cm							
		S	M	L	LL	3L	4L	5L	6L
基本身体 寸法	バスト	72~80	79~87	86~94	93~101	100~108	107~115	114~122	121~129
	アンダーバスト	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>

注<sup>a)</sup> アンダーバストの基本身体寸法は、衣料の製造業者、販売業者が許容範囲とする値を表示する。

【出典：JIS L4006 表 12】

ガードルについては、ウエストに重点を置いたウエスト・ヒップ表示について、消費者のサイズ選択を容易にするため、ウエスト値に加えて、ヒップの参考サイズ (S、M、L) を併記する表示を呼び方2として追加しました (表6)。また、ウエスト重点よりも比較的締め付け感なく着用できるガードル類へのユーザーニーズが高まっていることに対応し、ヒップに重点をおいたヒップ・ウエスト表示を新たに設け (表7)、ウエスト値は、衣料の製造業者、販売業者が許容範囲とする値を表示できるようにしました。

表6 一ウエスト・ヒップ表示

呼び方1		単位 cm									
		58	64	70	76	82	90	98	106	114	122
呼び方2		58・S	64・M	70・M	76・L	82・L	90・LL	98・LL	106・3L	114・3L	122・4L
基本身体 寸法	ウエスト	55~61	61~67	67~73	73~79	78~86	86~94	94~102	102~110	110~118	118~126
	ヒップ	79~89	83~93	86~96	89~99	91~103	94~106	97~109	100~112	103~115	106~118

【出典：JIS L4006 表 14】

表7－ヒップ・ウエスト表示

呼び方		S	M	L	LL	3L	4L	5L	6L
基本身体寸法	ヒップ	82～90	87～95	92～100	97～105	102～110	107～115	112～120	117～125
	ウエスト	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>	— <sup>a)</sup>

注<sup>a)</sup> ウエストの基本身体寸法は、衣料の製造業者、販売業者が許容範囲とする値を表示する。

【出典：JIS L4006 表15】

### ⑥L4007（靴下類）

主に、タイツ及びパンティストッキング類については、ユーザーニーズの多様化に応じ、成人男子用には大きいサイズ 3L を追加し（表8）、成人女子用には小さいサイズ SS 及び大きいサイズ 3L を追加しました（表9）。

表8－成人男子用

呼び方		S	M	L	LL	3L
基本身体寸法	ウエスト	68～76	76～84	84～94	94～104	104～114
	身長	155～165	165～175	175～185	175～185	185～195

【出典：JIS L4007 表3】

表9－成人女子用

呼び方		SS	S	M	L	LL	3L
基本身体寸法	ヒップ	75～83	80～88	85～93	90～98	95～103	100～108
	身長	140～150	145～155	150～160	155～165	160～170	165～175

【出典：JIS L4007 表5】

### 3. 期待される効果

衣料品販売事業者が本 JIS を基にしたサイズ表示を行うことにより、消費者が衣料品を購入する際の選択肢が広がること、自身の身体にフィットした衣料品を選択できるようになることが見込まれます。これにより、我が国の衣料品市場が活性化することが期待されます。

※日本産業標準調査会（JISC）の HP（<http://www.jisc.go.jp/>）から、

「L4004（成人男子衣料のサイズ）」等で JIS 検索すると 本文を閲覧できます。

【担当】経済産業省 産業技術環境局 国際標準課（03-3501-9283、[bzl-s-ki jun-ISO@meti. go. jp](mailto:bzl-s-ki jun-ISO@meti. go. jp)）

（課長）渡辺（担当者）田中、小松、岡本